



有益な施設だが・・・
トイレ・手洗い・洗い物の度に
建物を出て移動して靴を履き替え・・・

教育実習で使う夏期は高温に達してしまい
安全確保のため使用不可（令和5年度）・・・

来校者用駐輪場が
中学校敷地内どこにもない・・・



リノベーション

さらに、地域探究の産官学連携や
特・小・中・大連携、地域住民の文化活動
教育・スポーツ・文化を協創できる施設へ！



「キャンパス活性化リノベーション事業」

キャンパスの再生と創造への「共感」。

【附属函館中学校】



地域教育・協働 環境整備事業

(総事業費：1,000万円)

寄附目標額：150万円

※ご支援頂いた寄附金は、「事業計画」に基づく事業など、キャンパス、
附属学校園の「修学環境等を整備する事業」の実施に活用します。



事業代表者
函館校キャンパス長
北村 博幸

事業計画に関するお問い合わせ

皆様の【共感】が、
キャンパスを再生します。

国立大学法人北海道教育大学函館校
財務グループ

<https://www.hokkyodai.ac.jp/hak/>
〒040-8567 函館市八幡町1番2号

北海道教育大学基金

電話:0138-44-4213/0138-44-4299
FAX:0138-44-4380
E-mail: hak_zaimu@j.hokkyodai.ac.jp



附属中学校「教育実践研究棟」を拠点に地域の教育・健康・文化を協働して創出する環境の実現へ

附属函館中学校の教育実践研究棟は、教育実習や教育支援を行う学生の活動・準備の拠点、地域の教員・管理職の研修会場、地域住民の文化活動の拠点、中学校生徒の体育や部活動のミーティング場所等に活用されていますが、**グラウンド利用も含め、今後さらに地域の教育・スポーツ・文化の交流・協創、および特・小・中・大連携の拠点化を進めるために、共感に基づく環境を整備します。**



附属函館中学校教育実践研究棟（令和3年築）鉄骨造1階建 延べ床面積166㎡

【概要】教育実践研究棟は、中学校および地域の様々な活動に活用されていますが、設置時の予算の都合によりトイレ等を設置できないまま不便な状態が続いています。

今ある教育実践研究棟の可能性を最大限に活かし、今後さらに地域の支援者（大学生を含む）からの教育・スポーツ・文化のサポートを増大し新たな学校教育支援モデルを構築すると共に、特別支援学校・小学校・中学校・大学の連携の拠点としたいと願っています。そのための環境整備が必要となるため、ご理解と協力を賜りたく存じます。
(函館校キャンパス長 北村 博幸)



教育実習や探究活動の支援で教育実践研究棟を使う際に、**トイレや手を洗う場所、エアコン、自転車置き場などがなく不便でしたので、整備して頂けるととてもありがたいです。**
(国際地域学科・地域協働専攻 古川 まゆ)



夏に音楽部で実践棟を使うときは**暑いので窓を開ける**のですが、近隣の方のご迷惑にならないよう**大きな音を出すことができません**。また、**グラウンドを利用中は、校舎正面玄関に回り込んで上履きに履き替えて校舎内のトイレに行かなくてはならず、往復5分くらいかかってしまいます**。グラウンド近くの水道は飲むのに向かないので、実践棟で**水分補給もできるようなとうれしいです。**
(附属函館中学生徒会長 三塚 ひとみ)



木彫サークルの活動場所として実践棟を利用させていただいています。**水道や洗い場などがなかったために「塗り」の活動をあきらめていましたので、可能になればとても助かります。**
(木彫サークル代表 小林 由美子)

事業費

トイレ改修	450万円
空調工事	400万円
自転車置き場設置	150万円
総事業費	1,000万円

予算

寄附金	150万円
学内予算	850万円
合計	1,000万円

現状、問題・課題点



左奥がグラウンド
右手が教育実践研究棟

教育実践研究棟は地域の教育・スポーツ・文化の研修・交流の拠点として高頻度で活用されていますが、**トイレや手洗い場などを備えていないため、本校舎まで移動して靴を履き替えて使用しなければなりません。8～9月には教育実習生が使用するのですが、校内でも最も高温に達するがエアコンがないため、令和5年度には実習生の体調を考慮して使用を避けました。また、駐輪場がありません。**

隣接するグラウンドの利用者も同様の状況にあり、生徒だけではなく、附属中との合同練習に参加する他校中学生や、地域の支援者（大学生を含む）にも不便をかけてしまっていました。

事業イメージ、事業による成果



教育実践研究棟にトイレ、水場、駐輪場を増設することにより、教育実践研究棟やグラウンドの利用者の利便性を改善し、**従来以上に地域の教育・文化・スポーツの支援・交流の拠点としての機能を高め、部活動や地域探究活動等に係る外部の産官関係者・支援者（含：大学生）の**

共感と支援を得やすい環境を整備します。あわせて、特・小・中・大の連携を推進する拠点化も図ることで、新たな協創的環境を整備したいと考えています。上記のように用途を拡大した暁には地域の方々の利用頻度も増えるため、エアコンも整備することで、猛暑期の利用者の健康・安全にも充分配慮したいと願っています。

【状況等】

寄附の目標額を達成しました。

本事業に、たくさんのご関心と応援をお寄せいただきありがとうございます。

公募から短い期間でありましたが、当初の目標額を達成することができましたことを、心よりお礼申し上げます。

目標額達成に伴い、地域の教育・健康・文化を協働して創出する環境の実現のために改修整備工事を進めてまいります。工事が完了の際は、改めて皆様にご報告申し上げます。

(令和6年10月9日)

キャンパスの再生と創造への「共感」。

現在中学校敷地内に
来校者用の駐輪場が
なく、教育実習生
や他校の合同部活
生徒等は物置裏の
草地に停めていた



教育実習で使用する8
～9月に構造上校内で
最も高温(35℃以上)
に達してしまい、
安全対策上使用でき
なかった
(令和5年度)

グラウンドから
校舎玄関経由で
上履きに履き替え
トイレに入るまでに
2分強かかっていた
(往復5分近くロス)

教育実践研究棟から
校舎玄関経由で
上履きに履き替え
トイレ・水場に入
るまでに
2分弱かかっていた
(往復移4分程度ロス)

キャンパスの再生と創造への「共感」。

グラウンド 【スポーツの支援・ 交流拠点】

＜今後＞ 部活動の地域支援者
(含：大学生)の導入や、複数
中学合同チーム練習場所として
の活用などをさらに推し進め、
地域のスポーツの支援や交流を
活性化する拠点としたい



教育実践研究棟

【教育・文化の支援・交流拠点】

＜現在＞ 地域の教育・文化の研修・交流の拠点、教育実習生や学習支援者の準備・活動場所、道南地域教員・管理職の研修会場、地域住民の文化サークルの活動場所、等々として機能

↓
＜今後＞ 従来以上に地域の学びや文化の交流の拠点としての機能を高め、地域探究活動（「総合的な学習の時間」）に係る外部の産官関係者・支援者（含：大学生）の支援拠点、部活動の外部支援者（含：大学生）の準備・ミーティング室等にも活用し、地域の教育・文化・地域探究の支援や交流を活性化する拠点としたい。

また、附属特別支援学校・小学校・中学校・大学の実質的な連携を推進するための拠点化も進めたい。

環境整備により

【 地域の教育・スポーツ・文化の 支援・交流を支える場へと発展 】

- ① 多目的トイレ
- ② 洗い場・給湯スペース
- ③ 駐輪場
- ④ エアコン



INQUIRY-BASED LEARNING

2年「探究」

大泉市長へ届け！ 函館市のミライ提言書

函館市のミライに向けた提言

皆さんが将来社会人になったとき、函館市はどのようなまちになっているのでしょうか？
日本全国の地方都市で人口減少が進む中で、函館市の人口減少も加速してきます。
ミライの函館市はどのようなまちになってほしいですか？
皆さんの行動（Action）で、活力あるまちにするべく、ミライ提言書を作成しよう！

キャンパスの再生と創造への「共感」。